



ビーチボールバレーへの挑戦



ビーチボールバレーへの挑戦

ビーチボールバレーと言われると砂浜でやるバレーをイメージしませんか？実は富山県下新川郡朝日町で生まれ、ルール制定は昭和54年と歴史のあるスポーツです。

ねんりんピックの富山大会の種目にはじめて選ばれました。直径27cmのビニールボール、コートの広さはバドミントンと同じ、ネットの高さは180cmです。ジャンプしなくてもネットから手が出ます。写真左はビーチボールに空気を入れて27センチの直径に合わせています。

写真右は5月27日に行われた「すこやか長寿スポーツ・文化交流大会ビーチボール大会」の受付の様子。



ビーチボールバレーへの挑戦

写真は今回挑戦する6人です。この大会に出る前に3回練習を行いました。しかし、ルールも明確に理解できていませんので、大会前の午前中に行われるビーチボールバレーの講習会に参加しました。体験取材の私(4)を除き、皆さんはバレーが得意です。

ソフトバレーの現役選手もいます。写真下から渡邊さん(6)、遠藤信夫さん(1)、林さん(2)、遠藤真さん(3)、山下さん(5)。()内の数字はゼッケン番号です。皆さん勿論60歳以上です。



ビーチボールバレーへの挑戦



ビーチボールバレーへの挑戦

午前中に行われたビーチボールバレー講習会です。まずは準備体操です。写真左は講師の現役選手、写真右は受講者。怪我の防止には準備体操が大事です。



[ビーチボールバレーへの挑戦](#)

ビーチボールの技術・ルール説明の後、輪になってパスの練習です。ビーチボールは70グラムと軽いせいか、両手で受けるのが難しいと感じました。



[ビーチボールバレーへの挑戦](#)



[ビーチボールバレーへの挑戦](#)

次はコートに分かれ試合形式の練習です。ビーチボールは強く打っても軽い為に失速して、ソフトバレーの現役選手はタイミングが合いません。素人の私には強力なスパイクをされても失速するので怖くありません。また、軽いので突き指の心配もありません。上を向いて競技をやるので腰曲がりの予防にもなります。ボールを思い切り打ってもアウトにならないのでラリーが続きます。ネットが低いのでスパイクしても簡単にブロックされますのでフェイントの工夫が必要になります。私の様な未経験者が簡単に始められるスポーツだと思いました。

このチーム(富士山っち)が県代表として富山大会に行く事になりました。

東部・田方地区生きがい特派員

加藤 孝